

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針対象外研究

第1章第3適用範囲,1のウの にあたる。

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	人口動態調査に基づく将来推計人口による神奈川県のがん患者数の将来推計と医療施設および医療従事者の配置の関係－神奈川県悪性新生物登録事業
	研究目的	<p>日本における死因に係る疾患の分布は急速に変化し、主な死因は結核や肺炎などの感染性疾患からがん、心疾患、脳血管疾患などのいわゆる生活習慣病とよばれる個人の生活習慣の経年変化によって作られることの多い疾患になってきた。その中でもがんは罹患時と死亡時の住民全体に基づく登録がある日本で唯一の疾患である。近年の革新的な医療技術の発展でがんを克服できるがん患者が増えてきているが、医療施設や専門医などは限りある医療資源である。この限りある資源で対応しなければいけない地域にどの程度のがん患者になる人がいるのかを予測することがこれから必要になると思われる。人口推計に基づくがんの罹患数の予測をすることは世界で行われている(1)(2)が、日本ではこれからの年齢別人口構成が少子高齢化に急速に変化していくと言われているにもかかわらずがんの罹患数予測に関して不明な点も多い。日本の詳細な地域でがん罹患数予測のエビデンスを創出することは意義のあることと考え研究を計画した。</p> <p>本研究のリサーチクエッションは、「少子高齢化・人口減少社会になることによりがん患者の罹患数はどのような推移となるか、また、その患者に対応する医療施設と医療従事者との関係の推移はどのようになるか」である。</p> <p>具体的には神奈川県における全住民に基づく大規模疾患レジストリーである神奈川県悪性新生物登録事業のデータ、人口動態における神奈川県の人口データ、国立社会保障・人口問題研究所の日本の地域別将来推計人口データと各学会などの専門医の公表データを用い、神奈川県のがん患者数の将来推計と医療資源の関係について胃がん、大腸がん、乳がん、肝がん、肺がん、血液がん、前立腺がんにおいて検討することによって上述のリサーチクエスチョンを明らかにする。</p>
	研究期間	2017年3月23日から2020年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(匿名化された) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	成松宏人

試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	がん予防・情報学部と泌尿器科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者 海外へ試料・情報を提 供する場合、国名も記 載して下さい。	なし